

あつま

生涯学習だより

発行 厚真町教育委員会 電話 27-2495

主な記事

- ①厚真町教育フォーラム/メディアリセットチャレンジ大会/学校運営協議会
- ②第5回子ども教育委員会開催
- ③イングリッシュキャンプ/新AL T紹介/丸山君北海道制覇
- ④定例教育委員会/文化祭展示作品募集/旭川陶芸フェスティバル/英会話教室/合気道公開稽古&体験会
- ⑤図書室だより
- ⑥放課後子ども教室活動紹介

地域全体で厚真の教育を考える 厚真町教育フォーラム

7月26日(金)、地域の方々・小中学校の保護者・教職員・合わせて約100名が総合福祉センター大集会室に会し「令和元年度厚真町教育フォーラム」が行われ、小中一貫教育の在り方や、これからの厚真町の教育について語り合いました。

シンポジウムでは、北広島教育委員会の富田英禎氏が北広島市の小中一貫教育の取組を紹介し、胆振教育局教育支援課課長の竹内結美氏より助言をいただきながら、小中一貫教育の効果的な運用方法についての理解を深めました。

ワークショップでは、「ふるさと厚真に学ぶ教育をすすめるために」をテーマにグループ討議が行われ、「厚真の英語教育の成果をもっと外に発信する」「あつまるねっとの活動を広めて地域の人々が教育に関わる機会を増やす」など、さまざまなアイデアが出されていました。



メディアリセットチャレンジ大会

アウトメディア成功者を表彰

7月7日に、1日限定のメディアリセットチャレンジ大会が行われました。この大会には、10家庭が参加し、すべての家庭(子どもの数は22人)がチャレンジに成功(同等の成果も含め)しました。わずか1日ですが、スマホ、ネット、電子ゲームをせず、夕食時からテレビを消すなど、家族全員の協力がなければ、チャレンジに成功するのが難しい取組です。チャレンジに成功した保護者からは、「とてもよい取組なのでぜひ続けてほしい」「家族全員で取り組むことに意義がある」などの感想が寄せられています。

11月には3日間の大会が予定されています。多くのご家庭が参加されることを期待します。

メディアリセットチャレンジ大会表彰式



学校運営協議会報告

6月27日 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

厚南地区 子どもたちに身につけてもらいたいこととして「挨拶」があり、委員からは「札幌から厚真にきた時、子どもから挨拶する姿に驚いた」、「不審者が出た時、挨拶しない時期もあったが、今は元気に挨拶する」、「児童クラブでは、おかえり、ただいまの挨拶をしている」など、放課後や地域での子ども達の様子を共有しました。

7月11日 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

中央地区 厚真中1年のコミュニケーション科の授業見学で、委員から「いきいきと英語を話しているのが驚いた」、「子どもたちと一緒に英語を学びたい」との感想があり、学校から「長い間、同じ人間関係の中で育っているため、コミュニケーションがシンプルになっている。言葉だけでなく様々な表現で伝えようとするので英語力だけでなく、コミュニケーション力も養われている」という説明がありました。

第5回 厚真町「子ども教育委員会」が開催されました

7月30日に、総合福祉センターで、今年で5回目となる「子ども教育委員会」が開催されました。町内の小・中学校の児童会、生徒会役員14人が出席し、「震災からの復興」にからめて、「将来の厚真の夢を語ろう!」をテーマに、「10年後、20年後の厚真はこんな町になってほしい」という子どもたちの夢や願いをもとに熱心な話し合いが行われました。



小学校グループの話し合いから

元気な厚真を全国に発信!

1 自然を守りたい 残したい 増やしたい

- ・厚真のよさは自然豊かなこと。
- ・昔のように緑たくさん自然が感じられる町に。
- ・今よりもっと自然豊かな美しい町、自慢できる町に。
- ・自然災害に強く、安心できる町に。

2 特産物を増やしたい 広めたい

- ・ハスカップなどの特産物が全国的に有名になってほしい。



- ・ハスカップ以外の作物（米、かぼちゃ、イチゴ、花など）も有名になってほしい。
- ・若者がいっぱいいる農業になってほしい。
- ・起業するときにサポートしてくれる町に。

3 行事・文化を続けてほしい 残してほしい

- ・地域の人たちがもっとふれ合える場所や行事を作してほしい。
- ・田舎まつりなどの伝統的な行事がずっと続いてほしい。

4 町民全員が 平和で 笑顔で 幸せに

- ・事故や事件、ぎゃくたいがない平和な町に。
- ・町のみんながいつも笑顔で明るい町に。
- ・町民全員が幸せに生活できるように。

5 近くに 安全で 楽しい公園を

- ・小さな人から大人まで遊べる公園がない。

6 「厚真はがんばっている」と全国に伝えたい

中学校グループの話し合いから

たくさんの方が恋しくなる故郷に!

【町民の思いを高める】

- ・笑顔いっぱい町。
- ・思いやりを持てる町。
- ・たくさんの夢を叶える町。
- ・助け合い、活気のある町。
- ・ご近所付き合いがある町。
- ・都会に出てからも恋しくなる町。
- ・今ある伝統を受け継ぎつつ、新しい伝統を作り上げる。
- ・ハスカップの作付面積をもっと多く。
- ・ハスカップを日本一から世界一に。

【厚真のPRを】

- ・厚真町内のツアーを。
- ・町外の学生との交流を通して厚真町のPRを。
- ・ネットを使って発信。

【町外の人を惹きつけられる町づくりを!】

- ・若い人がたくさん住み、様々なつながりがある町。
- ・イベントを通して厚真のよさや特産物を町外の皆さんに知ってもらい知名度を上げたい。
- ・「地震が起こる町」ではなく、「地震が起きても安全な町」「信頼される町」にしたい。
- ・「北海道で〇〇と言えば、厚真町!」をつくる。



【移住・定住】

中学2年生コミュニケーション科授業

イングリッシュ・デイ・キャンプ



7月22日(月)に総合福祉センターをメイン会場に中学2年生のコミュニケーション科の授業として、イングリッシュ・デイ・キャンプが行われました。

前半はイングリッシュ・トライアルとして、メイン会場を中心に協力いただいた商店や図書館など5つの会場が用意され、写真

のように文房具の買い物、電話でピザの注文など学んだ英語を活用して取り組みました。



後半は、グループで英語のスキット(寸劇)づくりに挑戦。それぞれのアイデアや工夫を凝らした全体発表では、スキットのオチに大きな笑いが巻き起こるなど、生徒たちはたくさんの



英語を使いながら英会話の楽しさを感じていました。

※コミュニケーション科

厚真町が文部科学省の教育課程の特例を活用して、町独自の教科として設けた教科。「あつまPR」「英語劇」「五島市の学校との交流」など、学んだ英語を活用しながら発表や英会話を行う教科で、今年度からは小中一貫教育の教育課程の特例を活用している。

あつまねっとサポーターも活躍

参加できるALTの減少や生徒数の増加に対応するため、海外生活の経験者や英会話が堪能な5名の町民サポーターもこの取組に参加しました。

町内の商店や青少年センター等で職員や店員に扮して英会話を実践し生徒の英語力向上のサポート役を担いました。



新ALT Kelsey ケルシー先生紹介

8月7日新しい外国人英語指導助手のケルシー先生が着任されました。カナダの首都オタワの出身です。



こんにちは。私の名前は、ケルシーです。私の趣味は、油絵と映画鑑賞です。

厚真町のホームページで、けん玉のことを知り、今、けん玉の練習をしています。

皆さんと一緒に英語や日本語を学ぶことをとても楽しみにしています。

よろしくお願いします。

日本サーフィン連盟北海道支部公認大会 快挙!!厚真中丸山君が サーフィンで北海道制覇

7月28日(日)に浜厚真海岸で行われたNSA日本サーフィン連盟北海道支部公認「3 Dimension surfboards サーフィン大会」において、厚真中学校1年の丸山晴凧君(豊沢)が、大人も含めた最上位クラス「Sクラス」において、北海道の並いるエキスパートサーファーを抑え、見事優勝の快挙を果たしました。丸山君は8月19日から高知県東洋町の生見海岸で開催されている「全日本サーフィン選手権大会」

にも出場しており、今回の優勝で全日本選手権に向け大きく弾みをつけました。



7月定例教育委員会

7月30日に開催された定例教育委員会の会議内容についてお知らせします。

◆報告事項◆

町議会総務文教常任委員会事務調査（防犯カメラの運用状況）について/鷗川漁業協同組合厚真ホッキ貝漁業部会から学校給食センターへホッキ貝の寄贈について/メディアリセットチャレンジについて（ほか17件）

◆議案◆

厚真町学校給食センター条例施行規則の一部改正について（1件）

◆協議事項◆

平成31年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載に対する同意について（1件）

◆その他◆

上厚真小学校感謝の日（兼開校120周年）の開催について

★問合せ★

教育委員会学校教育グループ
☎27-2494

英会話教室開講

カナダ出身の町ALT(外国人英語指導助手)ケルシーさんによる9月～12月期の英会話教室を開講します。

初心者クラス・経験者クラスの2クラスがあり、初心者の方は両クラスの参加も可能です。途中からの参加もできますので、参加希望の方は事前に申し込みをお願いします。

◆日程 9月4日～12月18日まで
毎週水曜日

◆時間 <初心者クラス>
17:30～18:30
<経験者クラス>
18:30～19:30

◆場所 青少年センター2階 研修室

◆対象 中学生以上の町民の方
<初心者クラス>
あいさつや日常生活で使う単語の習得、ミニゲームなどを楽しみたい方
<経験者クラス>
基礎以上の英会話、英語でのディベート(議論)などを楽しみたい方

◆申込み 教育委員会 社会教育グループ

◆問合せ ☎27-2495

文化祭展示作品募集

11月3日(日)(文化の日)、4日(月)に「厚真町文化祭」が総合福祉センターをはじめ各施設で開催されます。

文化祭実行委員会では、町民の皆さんからの展示作品を募集しています。

なお、展示スペースには限りがありますので、展示を希望される方は、9月10日(火)までに下記までお申し込みください。

◆問合せ

教育委員会内 文化協会事務局
☎27-2495 担当 斉藤

旭川陶芸フェスティバル 町民見学ツアー

全道から110以上の窯元が集結する、壮大なフェスティバルです。旭山動物園も見学する予定です。

主催 厚真町陶芸同好会

日時 9月21日(土)

6:50 青少年センター前集合

7:00 出発

18:00 頃帰着予定

行先 旭川陶芸フェスティバル・旭山動物園

参加費 大人3,000円(バス代、動物園入場料含)
小人1,500円(中学生以下)

募集定員 33名

申込締切 9月10日(または定員になり次第)

申込み 臼澤 29-7870 または090-6210-9509
または、お知り合いの同好会会員まで

その他 会場到着後は集合時間まで自由行動です。昼食は各自でとってください。

合気道公開稽古&体験会

対象 小学生以上

講師 室蘭工業大学合気道部師範
戸田 実 七段

服装 動きやすい服装

場所 あつまスタードーム 柔道場

日時 9月14日(土) 13:00～15:00

共催 公益財団法人合気会 合気道室蘭道場

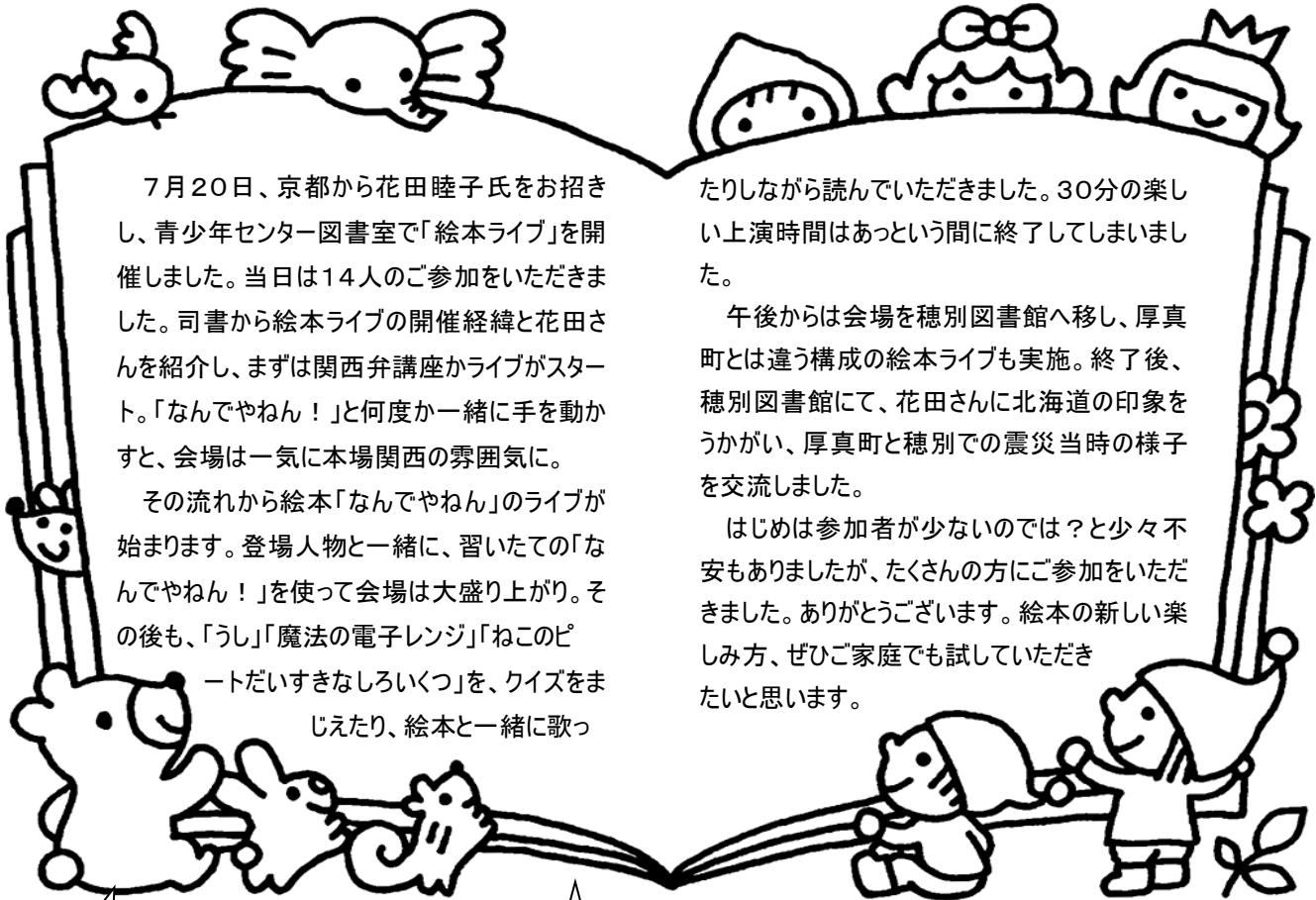
申込 事前申し込みは不要です

図書室だより

青少年センター図書室

TEL 27-2495 (平日)

楽しいひと時 絵本ライブ報告



7月20日、京都から花田睦子氏をお招きし、青少年センター図書室で「絵本ライブ」を開催しました。当日は14人のご参加をいただきました。司書から絵本ライブの開催経緯と花田さんを紹介し、まずは関西弁講座からライブがスタート。「なんでやねん！」と何度か一緒に手を動かすと、会場は一気に本場関西の雰囲気に。

その流れから絵本「なんでやねん」のライブが始まります。登場人物と一緒に、習いたての「なんでやねん！」を使って会場は大盛り上がり。その後も、「うし」「魔法の電子レンジ」「ねこのピートだいすきなしろいくつ」を、クイズをまじえたり、絵本と一緒に歌っ

たりしながら読んでいただきました。30分の楽しい上演時間はあっという間に終了してしまいました。

午後からは会場を穂別図書館へ移し、厚真町とは違う構成の絵本ライブも実施。終了後、穂別図書館にて、花田さんに北海道の印象をうかがい、厚真町と穂別での震災当時の様子を交流しました。

はじめは参加者が少ないのでは？と少々不安もありましたが、たくさんの方にご参加をいただきました。ありがとうございます。絵本の新しい楽しみ方、ぜひご家庭でも試していただきたいと思います。

イベント案内

プラネタリウムチャリティコンサート

- ★日時 9月22日(日)
14:00 会場 14:30 開演
- ★場所 青少年センタープラネタリウム
- ★アーティスト
☆蝦名 摩守俊(えびなますとし)
Vo&Guitar
☆碧 帆海(あおいほみ)
クリスタルボウル
- ★事前予約制(50名限定)
下記アドレスにメールで予約
kamimi0928@yahoo.co.jp
- ★問合せ 教育委員会 ☎ 27-2495



■ 青少年センター 9月の休館日

- 16日(月) 敬老の日
- 23日(月) 秋分の日

■ 青少年センター図書室開館時間

- 午前9時から午後5時(月・水・金・土・日)
- 午前9時から午後7時(火・木)

■ 厚南会館図書室

- 午前9時から午後5時(月～日)
- ※毎月5日・20日が土日・祝日の場合は休館となります。

9月のおはなしのびっこは 26日(木)10時から 青少年センター絵本コーナーです。

☆放課後子ども教室☆

今年は冷夏かとささやかれていたのが嘘のように、真夏日が続いた8月。暑さは体にこたえましたが、北海道の短い夏を十分に感じる事ができました。町内の小学校では夏休みが明け、2学期が始まりました。日焼けした子どもたちの肌に夏の楽しい思い出がつまっていることと想像しています。

夏休み中、通常の放課後子ども教室はお休みでしたが、7月27日(土)・28日(日)の2日間、夏休み特別教室として『ドキドキ川あそびデイキャンプ』を実施しました。むかわ町穂別地区にある河原で、流れに身を任せて浮かぶボディラフティングやボート遊び、岩場から川面に飛び込むジャンプ大会、水辺の生き物探しなどを楽しみました。27日(土)は小雨がちらつく空もようでしたが、翌日の28日は打って変わって夏の太陽がさんさんと輝きました。両日を通して水位は安定しており、気温、湿度、水温も高く、川遊びには最適なコンディション。子どもの自然体験活動に慣れたスタッフのサポートもあり、活動場所のあちこちで子どもたちのにぎやかな声が響きます。川面へのジャンプ大会では、初めてでも大胆に飛び込んでいく子もいれば、恐怖心と葛藤しながらチャレンジする子の姿もありました。チャレンジが成功したときの子どもたちは、とても良い顔をしていました。自然の中で思いきり遊びながら学ぶこと。この日、思い切って飛び込んだ感覚は、経験値として子どもたちの中に刻まれていくものと思います。子どもたちは自分の興味関心に合わせて遊びを選び、時間いっぱいまで遊び尽くした2日間でした。

